

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		中央区区振興課
	04	03	02	01	01	

政策
市民が地域やコミュニティの一員として活躍できる社会の実現

政策の内容

市民がコミュニティ活動へ参加することができる機会や場を多数創出し、市民協働によるまちづくりを推進します。地域活動の拠点である協働センター等のコミュニティ担当職員を中心として、地域資源の情報収集、地域団体への助言、団体間の連携促進や地区コミュニティ協議会の設立・運営支援などを行い、市民主体のまちづくりを進めます。

自治会の円滑な活動を支援し、自治会活動への市民の理解や参画を広めます。

区協議会などを通して地域の声を丁寧に伺い、各区・地域の特性や資源を活かした 区政運営に取り組みます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
地域とのつながり	あなたの暮らしている地域では、自治会や地域行事などの地域活動への参加が盛んだと感じますか。	3.04	3.08				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

現状:
中央区は、令和6年1月1日の区再編により、それまでの中区、東区、西区、南区、北区の一部を1つとした人口約60万人の大規模な区である。

区内には、商業施設や官公庁などの都市機能に加え、館山寺や弁天島、中田島砂丘などの景勝地や観光資源、世界に誇る産業など、多彩な魅力がある。

課題:
これまで培われた地域コミュニティや伝統ある地域資源を有する一方で、交通安全、防災、中央区としての一体感の醸成など課題も多岐にわたる。中央区の魅力を最大限に活かし、市民協働により区政を推進していくためには、行政センター、協働センターをはじめとした中央区のすべての組織が、より市民にとって身近で信頼される存在となる必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	513,432				
決算	495,854				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	237.0				
会計年度任用職員	348.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	36.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
地区コミュニティ協議会事業	地区コミュニティ協議会が区協議会に関する活動を行う際に、協働センター・支所が、区役所・行政センターと連携し、事務局としての業務を実施する。 ・地区コミュニティ協議会の会議開催に係る支援 ・地域分科会に要望を行う際の支援	1,750
		133
区協議会運営事業	地域住民の意見を行政運営に反映させ、地域における市民協働を推進し、もって住民自治の推進を図るため、区協議会を開催する。(中央区代表会、中・東・西・南地域分科会) ・市長その他の市の機関から諮問・協議・報告されたものや地域課題などについて協議 ・会議録等の公開	1,467
		997
市民提案による 住みよい地域づくり助成事業(補助金)	各種団体の提案に基づき、市が公益上の必要を認め、団体が主体的に取り組む事業に対し補助金を交付する。	13,000
		11,703
区民活動・文化振興事業	地域の活性化や文化振興のため、市民協働の観点を取り入れて区が事業を実施する。	13,959
		13,141
区課題解決事業	区内の課題を解決するため、市民協働の観点を取り入れて区が事業を実施する。	16,033
		14,216

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
協働センター等を核とした地域課題解決事業	協働センター等において、地域の課題を解決するため、地域団体等との協働によって事業を実施する。	4,350
		3,904
行政連絡事業	各地域自治会連合会に委託し、区内の全世帯への文書配布(広報はままつ、市議会だより等)及び軽易な調査等の行政連絡業務を実施する。	279,269
		276,287
自治会集会所整備費助成事業(補助金)	地域住民の福祉の向上及びコミュニティづくりに寄与するため、誰もが安全かつ円滑に利用することができる集会所の新築、増築、改修、耐震補強又は購入を行う自治会に対し補助金を交付する。 ・限度額・・・新築、購入:10,000千円 耐震補強:4,000千円 増築、改修:3,500千円	55,373
		53,534
防犯灯設置維持管理費助成事業(補助金)	夜間における犯罪の防止及び交通の安全を図るため、自治会が所有し、維持管理する防犯灯に対し、設置費及び維持費(電気料)、管理費(ランプ交換等の補修費)を助成する。 ・設置費補助・・・共架式:@22,400円、独立式:@76,000円 (設置基準を満たすLED灯を新規設置する場合のみ対象) ・維持費補助・・・電気料:全額(設置基準を満たすLED防犯灯のみ対象) ・管理費補助・・・補修費:1灯につき@22,400円を上限	118,310
		112,030
俳句の里づくり事業	(1)東地域俳句の里づくり事業実行委員会の運営 ・俳句の里づくり事業を推進するため、官民連携による実行委員会を運営する。 (2)第十八回「十湖賞」俳句大会の開催 ・郷土の偉人である「松島十湖」の名前を冠した俳句大会を実施する。 (3)東地域内小中高校俳句講座の開催 ・東地域内の小中高生を対象に、市内の俳句結社を講師とした俳句講座を行う。児童・生徒達に俳句に触れる機会を提供することで、俳句人口の拡大に繋げる。 (4)提案による俳句の里づくりを盛り上げる事業の実施 ・過去、高校生俳句選手権の開催。	4,532
		4,522

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
中野町煙火大会 開催事業(負担 金)	中野町煙火大会の安全対策及び環境対策に係る経費の一部を負担する。 ・安全対策:会場及び周辺において警備員や交通整理員を配置。また、バリケードや仮設照明設備を設置して来場者の安全を確保する。 ・環境対策:会場内に仮設トイレ等を設置することで周辺の環境を保全する。	1,172
		1,172
浜名湖うなぎまつり開催事業	浜松市を代表する地域資源「浜名湖うなぎ」を広くPRし、地域経済の活性化を促すことを目的とする。西地域を代表とするイベントとして定着した浜名湖うなぎまつりを、西行政センターの主要事業と位置付けて実施する。 ・浜名湖うなぎまつりの開催 18負担金補助及び交付金 05負担金 4,155千円 11月に浜名商工会の共催により、浜名湖ガーデンパークで開催(令和6年参加者 13,608人) うなぎの販売(弁当・丼・蒲焼)、うなぎ長巻寿し作り、うなぎのつかみどり、物産展、ステージイベント等 ・さいたま市浦和との交流 08旅費 05管外62千円(さいたま市) 「さいたま市浦和うなぎまつり」への参加、浦和市関係者との交流会出席	4,217
		4,215

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
コミュニティ担当 職員への研修回 数 (回)	協働センター等に配置し たコミュニティ担当職員 に対する研修回数 ※2024年度の実績値は 2024.4.1～2025.3.31の期 間の合計値である。	研修を通じて地域づくりの相談 役となるコミュニティ担当職員の スキルアップ・情報共有が図ら れることで、コミュニティ支援の 充実が見込まれるため。	目標値	-	7	7	7	7	7
			実績値	5	7				
			達成率	-	100%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
コミュニティ担当 職員の職務や役 割に対する理解 度・達成度 (点/100点)	コミュニティ担当職員設 置要綱に規定している 職務20項目について5段 階評価で自己評価(職 務等を理解している:3 点、実践している:4点、 積極的に行っている:5 点) ※2024年度の実績は、 2025. 3月に実施した調 査結果である。	コミュニティ担当職員が、職務や 関係する制度等を理解し、実践 することで、コミュニティ支援の 充実が図られるため。	目標値	-	76	78	78	79	80
			実績値	75	77				
			達成率	-	101%				
市民への約束評 価月間 (%)	1寄り添った対応、2わか りやすい説明、3親切丁寧の3設問 に対する 「満足」回答の割合 ※3設問合計	区再編初期の5年であり市民に とって行政サービスの維持向上 が最も重要であるため。また、 「市民協働によるまちづくり」の 基盤とも捉えられるため。	目標値	-	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0
			実績値	88.7	82.6				
			達成率	-	91%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
協働センター等を核とした地 域課題解決事業件数 (件)	○	支所、協働センター、ふれあ いセンター(中央区29施設) が実施する地域課題解決事 業の実施件数	実績値	13	20					29
			達成率	45%	69%					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

誰もが分けへだてなく、地域コミュニティの中で活躍し、市民、市民活動団体、事業者、市が協働してまちづくりを行っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
地区コミュニティ協議会事業	1 設立済地区 ・新たに認定した萩丘地区、舞阪地区を含む6地区の地区コミュニティ協議会の運営について、開催準備や資料作成など、会議が円滑に行われるよう支援した。 ・地区コミュニティ協議会から区協議会への要望について、論点整理を補助するなど、地域の声を行政へ反映させる支援を行った。 【要望書/市回答件数】 中地域: 要望書5件→市回答4件、継続: 1件 2 未設立地区 ・地域団体のキーパーソンに対し地区コミュニティ協議会に関する説明を行うとともに、今後の設立意向について調査を実施した。	2026年度から「地区コミュニティ協議会事業費補助金」を創設し、補助金の受領がこれまでの市の直執行か、地域が選択できるよう見直す。
区協議会運営事業	1 代表会 ・付託事項とする案件の決定や、区政運営方針の策定に関する協議など、中央区協議会として各地域分科会の意見をとりまとめた。 ・各地域分科会で取り扱った地域課題や、地区コミュニティ協議会からの要望事項など、4つの地域分科会から出た意見、要望について情報共有を図った。 【開催回数】(代表会)6回 2 地域分科会 ・代表会からの付託事項や地区コミュニティ協議会からの要望についての審議や、委員発意の地域課題について意見交換を実施し、地域住民の意見を行政運営に反映させ、住民自治を推進した。 【開催回数】 (地域分科会)中・東・南: 12回、西: 13回	区協議会が地域における市民協働活動の要となるよう、引き続き多様な意見の調整と適切な会議運営に努める。
市民提案による住みよい地域づくり助成事業(補助金)	市民が地域の課題解決や地域の活性化のために主体的に取り組む事業に対し、補助金を交付することを通じて地域を活性化し、地域活動の裾野が広がった。 【助成件数】中: 13件、東: 5件、西: 6件、南: 4件 【実施事業】 ・中地域: ①浜松未来フェスティバル、②視覚障がい者白杖管理アプリ開発と相談会、③萬葉日和 2025、④インドはままつフェスティバル、⑤外国籍の子供含む子供のキャリア体験イベント、⑥真夏のラテン&弦楽四重奏、⑦はままつ出世城餃子まつり2025、⑧歌のすきな子あつまれ〜♪浜松キッズコーラス講座、⑨第13回ハイスクールジオラマグランプリ、⑩マナビリングパーク、⑪利実り〜とぎみのり〜、⑫Hello!台湾フェス2025 with 浜松台湾夜市、⑬虹彩よさこい ・東地域: ①FAMIFES・はままつFAMILYマルシェ、②「みんなの二宮金次郎」の漫画本の増補改訂版の作成と配付、③大好き♡笠井文化祭、④地域活性化 健康・福祉の向上 イベント、⑤あの日から15年 ～災害から学び、未来へつなぐ～ ・西地域: ①地域のこどもたちと「庄内へちま×和紙」を通じた交流授業体験と広報、②中村家住宅でリズムヨガ、③うみいろそらいろ 浜松へちまプロジェクト、④浜名湖クルーズ～浜名湖から見る伊佐見と浜名湖の生き物体験会事業～、⑤伊佐見田んぼアート、⑥伊佐見小学校150周年記念事業 ・南地域: ①耕作放棄地活用事業～持続可能なコミュニティづくり～、②地域協働防災キャンプ事業【HAMAMATSU BOSAI READY】、③地域交流 健康増進/防災意識向上イベント、④秀吉ゆかりの頭陀寺城広報活動事業	中心市街地で実施するイベント件数が増加傾向にあるため、2026年度から特別交付税措置を活用し、団体への支援を拡充していく。

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
区民活動・文化 振興事業	市民協働の観点を取り入れて、地域の活性化や文化振興のための事業を実施し、各地域における地域資源（文化・資源など）を広く情報発信した。 【実施件数】中：2件、東：4件、西：6件、南：2件 【主な実施事業】 ・西地域：中村家住宅維持管理事業及び利活用事業 中村家住宅の施設管理、樹木管理、建物修繕等及びイベントの実施を通じ、貴重な歴史的遺産である中村家住宅の保存と活用を図り、地域の交流拠点として文化の向上及び発展を推進した。 ・南地域：ビーチコート利用促進事業 江之島ビーチコートを活用し、ビーチサッカー及びビーチテニスの体験会を開催し、地域資源である江之島ビーチコートの認知度向上、及び地域への愛着心の醸成につながった。	市民活動及び市民団体との連携を強化し、地域資源の活用と発信力の強化を行うことで、賑わいのある地域づくりを行う。
区課題解決事業	区内の課題を解決するため、市民協働の観点を取り入れて事業を実施することにより、安全で安心して暮らすことができる地域づくりに寄与した。 【実施件数】中：3件、東6件、西：4件、南：3件 【主な実施事業】 ・浜松市中央区魅力発信事業（天竜川・浜名湖地域12市町村合併20周年記念事業） 中央区にまつわる謎解きラリー、雄踏歌舞伎体験などの歴史文化、おいしい舞阪まるごと体験フェアなど地域資源を活用したイベントを実施し、区の魅力の発見・発信に寄与した。 [来場者数：10,311人] ・東地域：健康づくり応援事業 健康づくりへのきっかけとして、生活習慣病の予防に関する情報提供やがん検診の受診啓発を行った。 [年8回、参加者延べ1,127人]	地域における継続的な課題だけでなく、新たな課題の把握と掘り起こしを行い、地域における課題解決を推進する。
協働センター等を核とした地域課題解決事業	協働センター等において、地域団体等との協働によって事業を実施し、地域の課題解決を図った。 【実施件数】中：5件、東：2件、西：8件、南：5件 【主な実施事業】 ・中地域：木こりがまちに参上！山の魅力再発見事業（東部協働センター） 芳川・馬込川がある江東地区・飯田地区の小中学生やその保護者などが、山の現状・課題を知り、また、山の魅力を改めて認識した。さらに、木の利用が森林保全を通じて都市部の治水にも貢献することを理解することができた。 [参加人数：100人] ・東地域：笠井地区防災福祉講演会開催業務（笠井協働センター） 笠井地区の被災想定等を学ぶことで、地域の自助・共助の意識を高めるとともに、参加者の交流会を開催し活発な意見交換を行ったことで、コミュニティ強化を図ることも出来た。 [参加人数：117人] ・西地域：海苔すき体験事業（舞阪支所） 舞阪の伝統的な海苔づくりの手法である「海苔すき」を体験することによって、小中学生に地元の漁業に触れ合う機会を作り、地域の伝統文化の継承を図るとともに地産地消についても関心を持ってもらう事業として実施。 [参加人数：舞阪小学校3年生 70名] ・南地域：地元のお仕事 探検し隊（新津協働センター） 多くの世代の方が、新津地区の高い技術力を持つ企業や様々な分野の企業を訪問し、体験・学習することで、地域の魅力を知る機会に繋がり、地元の良さを再発見するとともに、地域内の結びつきを深めることができた。 [参加人数：129人]	区内の予算の配分変更を柔軟に行うことで、地域の声や期待に応え、地域の課題解決や地域コミュニティの活性化につなげていく。

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
行政連絡事業	各地域自治会連合会に委託し、区内の全世帯への文書配布（広報はままつ等）及び軽易な調査等の行政連絡業務を実施した。 【対象自治会数】中：156団体、東：106団体、西：61団体、南：79団体	広報はままつなど行政からの連絡を迅速・確実に行うため、今後も各地域自治会連合会と連携していく。
自治会集会所整備費助成事業（補助金）	集会所の新築、増築、改修、耐震補強又は購入を行う自治会に対し補助金を交付した。（新築、購入、耐震補強、増築、改修） 【助成自治会数】中：9団体、東：2団体、西：1団体、南：1団体	臨時の「自治会集会所省エネ設備導入事業補助金」に基づき、集会所のLED化や省エネ空調設備更新を促進する。
防犯灯設置維持管理費助成事業（補助金）	自治会が所有し、維持管理する防犯灯に対し、設置費及び維持費（電気料）、管理費（ランプ交換等の補修費）を助成した。 【設置補助灯数】中：137灯、東：94灯、西77灯、南21灯 【補修補助灯数】中：125灯、東：33灯、西90灯、南33灯 【電気料補助灯数】中：20,999灯、東：11,820灯、西11,832灯、南9,466灯	夜間における犯罪の防止及び交通の安全を図るため、引き続き、防犯灯設置維持管理費に要する費用を助成していく。
俳句の里づくり事業	1 官民連携による実行委員会：開催回数：3回 2 第18回「十湖賞」俳句大会の開催 東地域のみならず区内の協働センターで活動している俳句サークルを訪問して周知を図った。 応募総数：10,708句（6,297人） 3 東地域内小中高校俳句講座：東地域内の小中高生を対象に、市内の俳句結社を講師とした俳句講座を実施。俳句人口の拡大に繋げた。 開催日：6月9日～9月10日（24日）参加校数：17校 参加人数：2,703人 4 俳句の里づくりの提案事業 市内高校生による俳句の作成力と鑑賞力を競う大会を開催 開催日：2025年8月30日（土）会場：イオンモール浜松市野	・若年層への俳句普及のため、引き続き俳句講座を開催し、小中高生が俳句に触れる機会を提供していく。 ・十湖賞俳句大会における更なる投句者数の増加を目指し、引き続き事業PRに努める。
中野町煙火大会開催事業（負担金）	中野町煙火大会の安全対策及び環境対策に係る経費の一部を負担した。 ・安全対策：会場及び周辺において警備員や交通整理員を配置した。また、バリアードや仮設照明設備を設置して来場者の安全を確保した。 ・環境対策：会場内に仮設トイレ等を設置することで周辺環境の保全に努めた。 開催日：2025年8月14日（木）観覧者：40,000人（実行委員会報告）	中野町煙火大会への来場者の安全確保と環境対策を継続する。
浜名湖うなぎまつり開催事業	地域資源である浜名湖ブランドの「うなぎ」をPRするとともに、資源保護や食文化の意識の高揚、イベントの開催により西地域の活性化を図るため、浜名商工会浜名湖うなぎまつり実行委員会が主催（浜松市は共催）する「浜名湖うなぎまつり」を次のとおり開催した。 1 浜名湖ブランド「うなぎ」のPR うなぎ弁当の販売会やうなぎ長巻寿司作りなど、うなぎのPRを実施 開催日：2025年11月2日（日） 会場：浜名湖ガーデンパーク 来場者：16,600人 2 「うなぎ」の資源保護の意識の醸成及び食文化の意識の高揚 ・地域資源である「うなぎ」の資源保護の意識の醸成を図るため「親うなぎ放流事業」のPRと募金活動を実施した。 ・日本の食文化を代表する食材である「うなぎ」の魅力を継承するため、長さ50mの長巻き寿司を料理した。 ・イベント運営を補助する中学生ボランティアの募集を行い、西地域内の庄内学園及び雄踏中学校から20名の生徒がボランティアとして活動した。 3 「うなぎ」にゆかりのある地域の文化交流による「うなぎ」の魅力発信 うなぎを活かした街づくりのため、平成22年からかば焼きの発祥の地と言われるさいたま市との交流を継続 開催日：2025年5月31日（土） 会場：さいたま市役所	浜名商工会浜名湖うなぎまつり実行委員会と共催して「浜名湖うなぎまつり」を継続して開催することで、浜名湖ブランドの「うなぎ」をPRするとともに資源保護や食文化の意識を高めるとともに、西地域の活性化を図る。 また、さいたま市との交流も継続していく。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

新たに認定した萩丘地区、舞阪地区を含む6地区の地区コミュニティ協議会の運営や設立支援を行うとともに、未設立の地区へ地区コミュニティ協議会の説明・調査を実施した。引き続きコミュニティ担当職員を通じて、地域資源の情報収集、地域団体への助言、団体間の連携促進などを行うとともに、2026年度から「地区コミュニティ協議会事業費補助金」を創設し、団体が活動しやすい支援を実施する。

集会所整備や防犯灯維持管理など各種補助金などによる自治会への支援を通じ、自治会活動への市民の理解や参画を広めた。引き続き自治会を支援し、自治会活動への市民の理解や参画を広めるとともに、2026年度については「自治会集会所省エネ設備導入事業補助金」に基づき、照明のLED化などの支援を行う。

区協議会を通して地域課題の協議を行った。引き続き、地域課題を協議し、より良いまちづくりを推進する。

区課題解決事業など各地域の特性や資源を活かした地域力向上事業を実施した。長期成果指標である協働センター等を核とした地域課題解決事業の実施件数は順調に増加している。引き続き地域力向上事業を実施するとともに、中心市街地で実施する事業には特別交付税措置を活用し、支援を拡充する。

2026年度から、地域が主体となって開催する知名度があるイベントに対し、「みんなで応援地域活性化事業」を開始する。市内外の方々からの寄附金を募り、中央区の地域イベントへの共感・応援を拡大することで、イベントへの支援環境を整える。